

平成30年北海道胆振東部地震

平成30年9月6日03時07分 マグニチュード6.7(暫定値) 最大震度7
震源地 胆振地方中東部(北緯42.7度 東経142.0度) 深さ37km(暫定値)

[各地の震度]

震度7 厚真町

震度6強 安平町、むかわ町

震度6弱 札幌市東区、千歳市、日高町、平取町

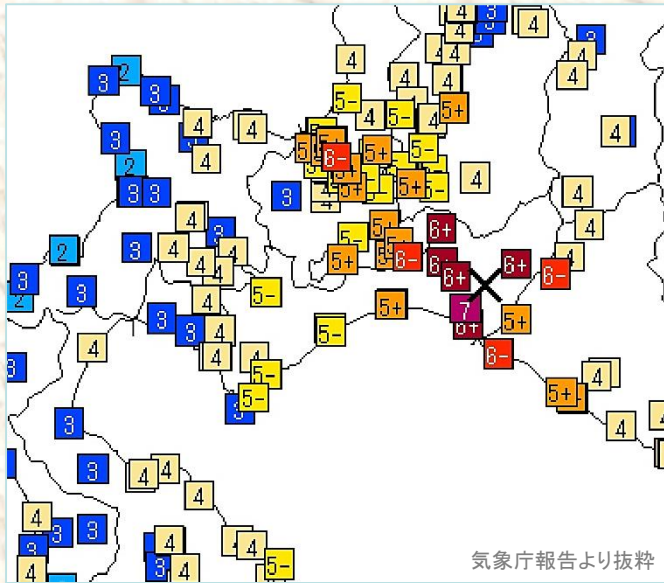
震度5強 札幌市清田区、札幌市白石区、札幌市手稲区、札幌市北区、

苫小牧市、江別市、三笠市、恵庭市、長沼町、新ひだか町、新冠町

震度5弱 札幌市厚別区、札幌市豊平区、札幌市西区、函館市、室蘭市、
岩見沢市、登別市、伊達市、北広島市、石狩市、新篠津村、南幌町、
由仁町、栗山町、白老町

※今回の地震発生後、10月10日24時00分まで、震度1以上を
観測した地震が301回発生

(最大震度7: 1回、震度5弱:2回、震度4: 19回、
震度3: 34回、震度2: 77回、震度1:168回)



土木研究所は、地震発生と同時に非常支援体制に入り、同日3時7分に災害対策本部を設置。同日8時30分に寒地土木研究所災害対策本部会議を開催し、同日8時45分に寒地土木研究所とつづば中央研究所間で災害対策本部連絡会議を開催。被害状況の情報収集・共有に加えて、国土交通省等からの要請に対して、専門家派遣を行う体制を整えました。

土木研究所では、北海道等からの要請を受け、災害発生直後から職員を被災地へ派遣し、土砂崩れ等による被害に関する調査や札幌市内での液状化に関する調査等についての技術支援に取り組みました。

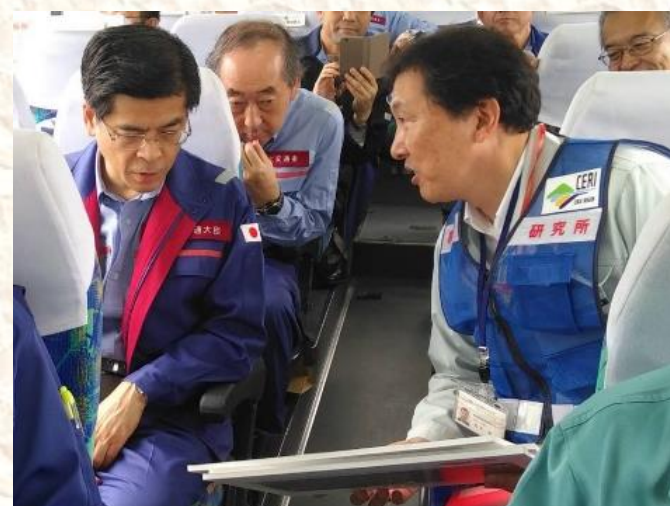


災害対策本部連絡会議の状況

平成30年北海道胆振東部地震 派遣状況			9/6	9/7	9/8	9/9	9/10	9/11	9/12	9/13	9/14	9/15	9/16	9/17	9/18	9/19	9/26	9/27	9/28	10/5	10/6	合計
土木研究所 (寒地)	厚真町	土砂崩落	2	2	2	2																10
	千歳市	R453 土砂崩落	1				1		2													2
	札幌市	清田区液状化					3															3
	苫小牧市	苫小牧港変状		1	1						1											3
	厚真町	厚真ダム			1	1	1	1	1	2												7
	安平町ほか	学校グラウンドほか調査							2	2						3			1			8
	厚真町ほか	砂防関係調査							1	1	1	1										4
	鶴川町	日高自動車道調査							1													1
	鶴川町	町内住宅地調査(土砂)									2											2
	安平町	瑞穂ダム													1							1
	むかわ町	鶴川の堤防調査															3					3
	厚真町	農業用パイプライン調査																		2	2	4
合計			3	5	4	3	5	1	5	6	2	3	1	0	1	3	3	0	1	2	2	50



9月13日石井国土交通大臣現地視察随行



石井国土交通大臣への説明状況